



WIZBL WHITE PAPER

5th Generation of Blockchain Technology



免責事項

ご覧の文書は情報提供のみを目的として製作され、この文書は参考用としてご覧下さい。WIZBLはどんな内容や保証(表現や含蓄)も行わず、ご覧の文書に明記された情報から発生する全ての法的な責任を負わないこととします。特にご覧の文書に明記されている“ロードマップ&開発”は変更される可能性がある情報であり、当社は今後WIZBLコインの性能と収益に関連したなどの陳述にも関連しておりません。当社の実際の結果と性能は“ロードマップ”に明記された結果と実質的に一致しない場合もあります。ご覧の文書に記載された情報は、監督及び承認する規制機関はありません。規制要求や関連規制によりどんな法的措置も受け入れないです。ご覧の文書の発行、配布、及び普及において、準拠法や規制要件、または規制に縛られておりません。この文書にはビジネスモデルと技術ソリューションに関連し、当社が経営する原理を定義いたします。文書に記載されている情報は変更される事も御座います。すべての変更事項は“修正版”でご確認お願いします。



目次

概要	3
紹介	4
WIZBL コイン	5
BRTE(Blockchain Real-time Ecosystem)とは	6
BRTEの特徴	7
BRTEの取引手順	8
BRTEの採掘手順	9
WIZBLのコイン具現及び成長戦略	10
コインセール	11
WIZBL チーム	12
リスク	13
改定履歴	16

概要



前世代のブロックチェーンは、仮想世界に暗号通貨を基準とした仮想経済環境を作り出しました。ビットコインに適用された Satoshi の Peer-to-Peer 基盤 Transaction model の具現とイーサリアムの Smart Contract まで、ブロックチェーン技術は、人、ビジネス、事業にわたり、日常における経済に、どのように相互が影響を受けて良いシナジーを出すのかを確認しました。

WIZBLとブロックチェーンプラットフォームがブロックチェーンの基本にしながらも、急速な変化と解決策を取り入れた最初のプラットフォームです。実質的な分散のみならず、速やかで安全なPeer-to-Peer基盤BRTEシステムを導入しました。これはインストールされたWallet SoftwareをPeer-to-Peer分散データ管理システムに使用することが可能になりました。

WIZBLは中央サービスから全てのデータを改善し、トランザクション処理と検証速度を最適化し、ブロック生成速度を最大毎秒1,000,000件のトランザクションを保存できるように処理することが可能となりました。更に、CPUエナジー消費を減らすと同時に、資産と価値を保護するためのセキュリティ一面も強化する努力を最大限に行っております。これら全てを通して、WIZBLはより幅広い規模の産業の拡大が可能であり、企業の要求に対し柔軟に対応できるように最善を尽くして進行する計画です。

WIZBLはブロックチェーン開発と新しい仮想通貨の時代を開く上で、大きな役割を担って行くでしょう。

紹介



WIZBLは基本的なブロックを活用し、コインを制作、流通するため、付加的な機能及び安全性において、拡張が容易である点が特徴です。

ブロックチェーンだけを使用する1世代、取引について検証する2世代(スマートコントラクト)の機能を超え、相手とコミュニケーションをする、取引できる3~4世代の機能を持ち、リアルタイム処理を目的とした部下の管理及び所得分配を適用した次世代ブロックチェーンプラットフォームと自負しております。

既存の暗号通貨技術の短所を補い、さらに実用的な凡用プロトコルの基準を作り出すことを目的に開発されました。これはリアルタイム取引を目標に作られ、既存のCPUやGPUなどのハードウェアパフォーマンスを通じ、採掘を目的とした保証ではなく、各ノードの間の保証と、ブロックチェーン状態の維持に対する補償、詰まり“取引検証補償”という概念を導入、コイン保証に使用者間相互分配の概念を導入し、このようなシステム構築を目的とし発生するブロック生成及び拡張に伴うリスクをBRTE(Blockchain Real-time Ecosystem)プラットフォームとして支援しています。

WIZBLはブロックチェーンプラットフォームの処理速度の遅さを補い、実用的なプラットフォームの開発に力を注ぎました。その結果、BRTEプラットフォームを通じ、最も多くの時間を必要とするブロック生成及び拡張速度を最小限に短縮し、BRTEプラットフォームは毎秒最大100万件の取引データを含むブロックを生成可能に設計されました。

WIZBL コインとは？



大量のトランザクションについて、リアルタイム処理及び、これらを基盤とした産業全般に凡用性がある活用をするため開発されたコインであり、既存の暗号通貨技術の短所を補い、さらに実用的な凡用プロトコルの基準を作り出すため開発されました。これらは、リアルタイム取引を目標として作られ、既存のCPUやGPUなどのハードウェアパフォーマンスを通し採掘による補償ではなく、各ノードの間の取引検証による努力の成果、詰まり“取引検証補償”という概念を導入し、コイン補償に使用者間相互分配の概念を導入し、このようなシステム構築を目的とし発生するブロック生成及び、拡張によるリスクをBRTE(Blockchain Real-time Ecosystem)プラットフォームとして支援しています。



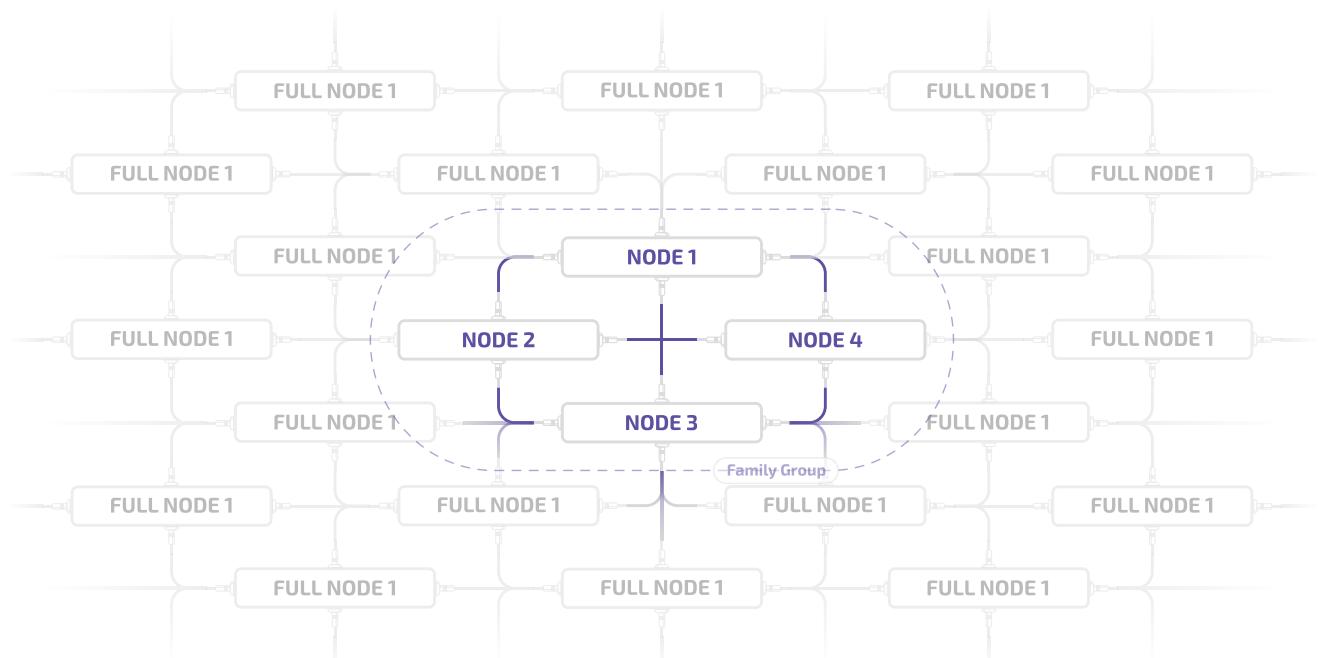
BRTE(Blockchain Real-time Ecosystem) とは?



BRTEはビットコインをはじめとする既存コインの限界として指摘されていた低い取引処理速度を改善するため作られたシステムです。既存の暗号通貨技術の短所を補い、実用的な凡用プロトコルの基準を作り出すため開発され、WIZBLコインはこのようなBRTEの状態を維持するため努力したノードへ補償を支給します。

既存のALL OR NOTHINGの勝者だけ独占する補償ではなく、システムを維持するに投入される努力に対し補償を支給します。BRTEでは取引手数料をノードに再び支給することにより、システム構成員とシステムの生産を図っています。金融取引へ特化したコインです。

ブロック生成及び拡張によるリスクをBRTE(Blockchain Real-time Ecosystem)プラットフォームで支援します。



BRTEの特徴



大量のトランザクション処理の効率性とブロック拡張の時、ネットワーク上発生するトラフィック問題を考慮し、ブロックサイズは8MBに設定しました。ブロックチェーン基盤の金融取引サービス提供を目指に向後、自体開発を通じ、拡張されたスマートコントラクト機能を具現する予定です。

トランザクションはWIZBLコインのスマートコントラクトの具体的な契約内容を意味し、トランザクションを発行する場合、手数料を支払います。手数料の金額はコイン数に対し一定の比率(0.13%)を数量で計算されます。トランザクションを発生させる場合、転送金額と手数料を考慮した金額を算定します。

セキュリティーに関して公開キー暗号化技術及びデジタル署名を利用しており、早急な取引確定を目的にブロックを自ら採掘する方法を適用しました。同一のノードが攻撃を受けたとしても、ほかのノードによるデータ復旧が可能です。

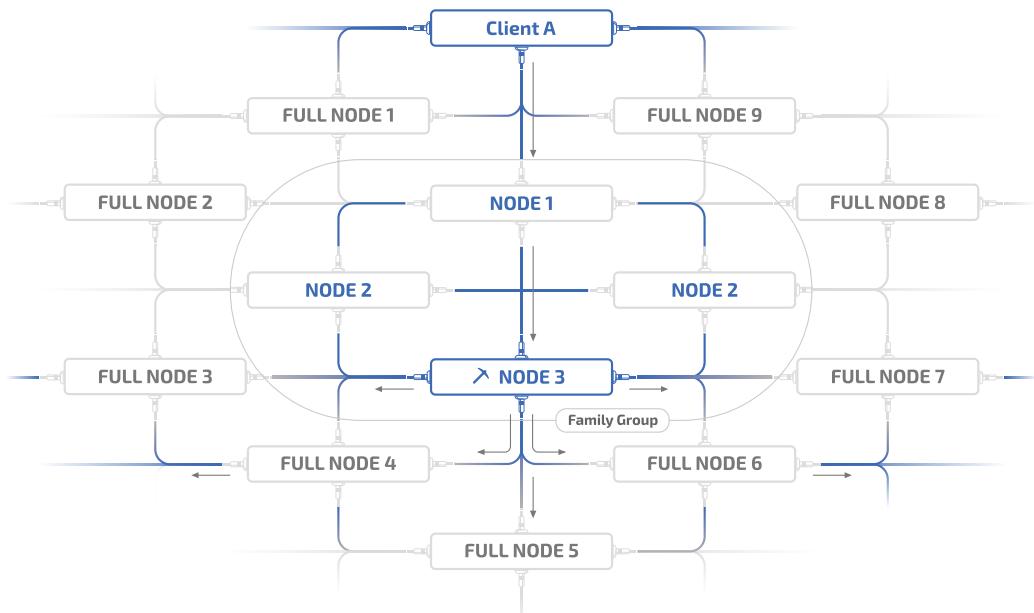
PBFT(Practical Byzantine Fault Tolerance)合意アルゴリズムを基盤に既存ビットコインシステムから発生し得るブロックの無効化や、トランザクション確定遅延現象が発生しません。これらを使用することにより、採掘過程で悪意がある使用者による採掘を未然に防止することが可能です。また、採掘されたブロックをFamily Groupで再検証し、採掘権限がないノードによる採掘を防止及び多重署名方式を活用し、ブロックに対する信頼度を高めています。

BRTEの取引手順

Transaction flow



1. 相手方からビットコインアドレス(相手方の公開キーに対するハッシュ)を受け取ります。
2. ビットコインアドレスにトランザクションを発生させます。
3. トランザクションを暗号化(デジタル署名)した後、トランザクションをネットワーク上に拡張します。
4. トランザクションが採掘ノード(政策的に一部のノードのみに権限を付与)に送ります。
5. 採掘ノードによりトランザクション確定作業(採掘)が開始されます。採掘は採掘ノードのメモリーフルを1秒周期でPOLLINGしながら未確定取引の有無を確認します。未確定取引が存在する場合、事前にFAMILY GROUPの合意により導出された採掘ノードが採掘を進行します。
6. 採掘ノードによるトランザクション確定作業が完了します。
7. 採掘されたブロックがFAMILY GROUPに拡張され、FAMILY GROUPからブロックに関する整合性検査を再び行います。
8. 再検証の過程は再検証カウントが全体のノードの2/3以上になるまで行われます。
9. FAMILY GROUPによる再検証が終了したブロックはFAMILY GROUPのブロックチェーンに接続され、外部のFULL NODEへ新規ブロックを拡張します。
10. 新規ブロックが追加されながら、トランザクションが確定されたことを確認し、取引が終了します。



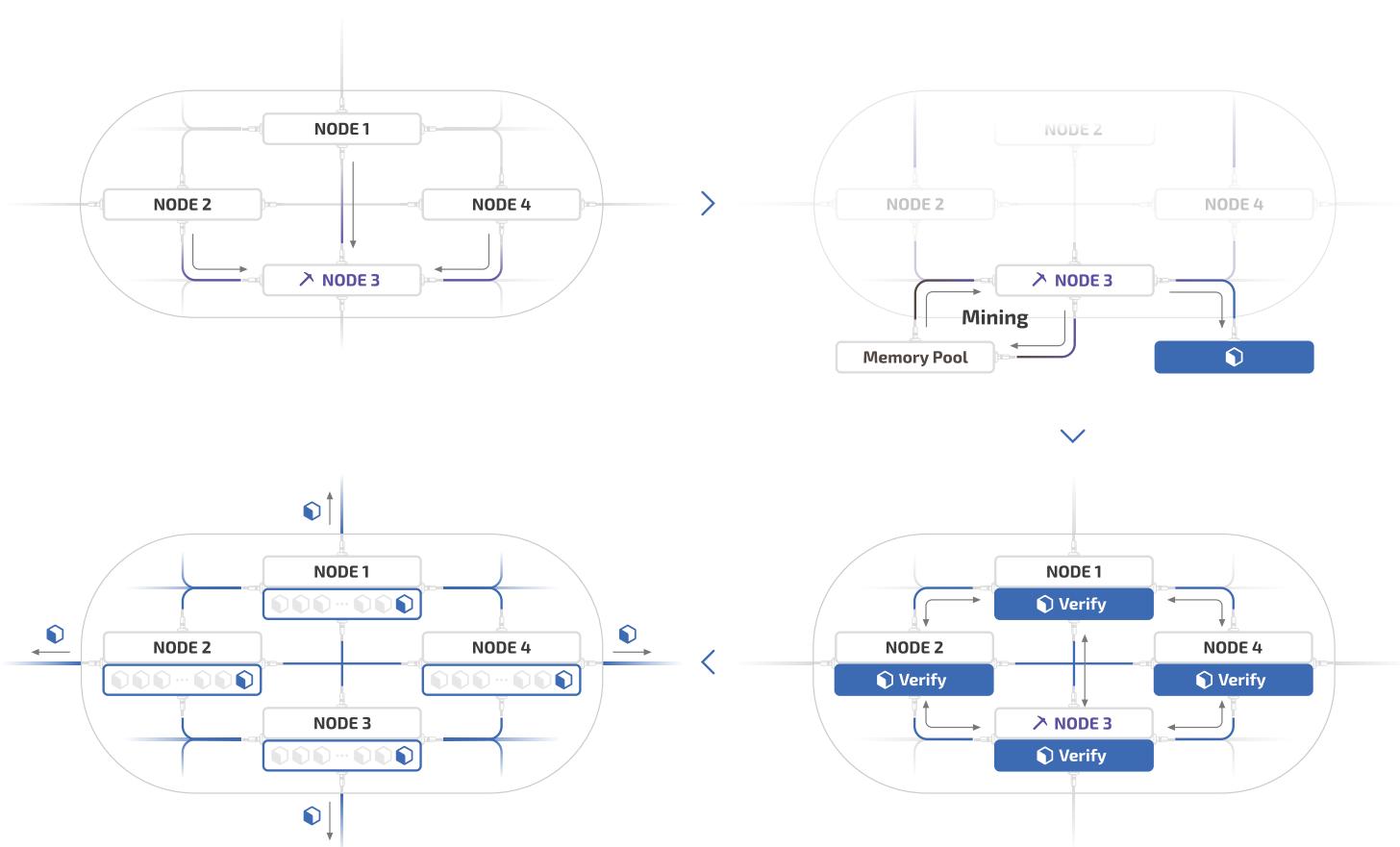
BRTEの採掘手順



Mining flow

BRTEでは早急な取引確定のため、ブロックを認証されたノードにより採掘する方式を適用しています。BRTEでは信頼できるノードに対して採掘権を付与し、採掘権限を持つノードのみFAMILY GROUPを形成しています。

1. FAMILY GROUPでは合意アルゴリズムに義挙し、採掘ノードを選定します。採掘ノード選定トランザクション伝達可否とは別に行われる過程です。
2. 採掘ノードはメモリーフルに未確定取引が取引の有無を1秒周期で確認します。
3. 生成されたブロックはFAMILY GROUPに拡張され、再検証を行います。
4. 再検証時、検証ノードのIDをブロックヘッダーに追加します。
5. FAMILY GROUPの2/3以上が再検証を行う場合、該当ブロックはブロックチェーンに接続され、外部に拡張されます。



WIZBLのコイン具現及び成長戦略



WIZBLコインはWBLという名前で呼びます。拡張とプラットフォームの持続的な使用を通じ、WIZBLはブロックチェーン市場の新しい標準技術となり、これからもさらに拡張して行くでしょう。開発者、事業家共に、WIZBLが確立した仕組み、アルゴリズム、そして効率性を、あらゆる目的達成のため、それぞれのビジネスモデルと統合することにより、ブロックチェーン技術の持続的な発展に向けて、共に意見交換し、新たな発展を生むことができるでしょう。

WBLはマザーコインとなり、コイン保有者は全てのプラットフォームの活用範囲に含まれて、恩恵を受けられる事となるでしょう。

WIZBLプラットフォームはビットコインの基本アルゴリズムによってブロックチェーン技術を基盤に付加的にコインを作ることができ、生産された各コインはWBLの現在の価格を基盤とし、設定及び変換された価格にて所有される事となります。長所として、コインの数が増加し、ブロックチェーンへの投資が増加すれば、オリジナルコインの価値が上昇するという点があります。

だから、WBLコインの投資は、未来のコインの数とその価値の上昇に比例し、価値が上がっていくことでしょう。当社はプラットフォームが全世界の産業のニーズに、多様な方法で答えることを期待し、それによりWBLの価値を高め、未来を更に広げて行く事でしょう。



コインセール

Summary, ICO Bonuses and Coin Distribution



Summary

Start date: 1:00 PM (UTC+9) on June 15, 2018

Payment methods: ETH

Soft cap: 5 MM USD

Hard cap: 48 MM USD

Coin exchange rate: 1 USD = 1 WBL

Total coin supply: 500,000,000 WBL

ICO Bonuses

15 June, 2018 13:00 ~ June 18, 2018 24:00 (UTC +9): 40% Bonus

20 June, 2018 13:00 ~ June 23, 2018 24:00 (UTC +9): 20% Bonus

25 June, 2018 13:00 ~ June 30, 2018 24:00 (UTC +9): 0% Bonus

- If the soft cap is not reached funds will be returned to the participants
- Upon reaching the hard cap, the ICO will end immediately

Coin Distribution

30% Coin Sale

20% Community & Strategic Partners

20% Reserve Fund

5% Early Backer

13% Founders & Management Team

12% Partnership & Advisory

Use of Proceeds

20% Development

15% Diversification and New Areas

15% Licensure and Legal Support

10% WIZBL Team

40% Marketing and Expansion

WIZBL チーム

Technology, Team, Application, Global Network



P2P機能具現による同時取引検証技術。各CLIENTが取引元帳記入機能を基盤に、同時に取引が発生しても検証システムを最小化し、インターネットへの接続するだけで取引できるREAL-TIME-BLOCKCHAINなどを開発中。

金融、通信、ゲーム、保険、バンド帯、流通など、産業全般にわたる10～16年以上の開発経歴を持つ、米国、韓国、英国、フランス、スペイン、ウクライナ等のプログラマー集団が1年余り強い団結力で開発。

TEAM

Executive Management Team

Andy You, CEO
Dongwon Kim, CFO
Pablo Lee, Director of Marketing
Dae Sung Jung, Manager

Advisors

Park Gon, Korean AI Investment
Kiyoshi Matsuo, SBI Holdings/CPA
Takao Kousuge, WIZBL Japan
Ryan Lee, Crypto Circle/Blackstark
Brian Kang, Crypto Circle/Fact Block Consortium

Core Development Team

Youngchul Moon, CTO
Moon Young Choi, General Manager of R&D
Yong Jun Kim, Director of Business Solution
Jisung Park, Senior Engineer
Vinshu Gupta, Senior Software Engineer

リスク



コインを購入、保有及び使用することにより、御覧のSCHEFULE2に明記されているリスクを明確に認め、推測します。現在、この様なリスクが実際に実現する場合、WIZBLプロジェクト及びWIZBLプラットフォームの産業的な実行の可能性に重大な影響を及ぼす可能性があり、これによりコイン売却、コイン破壊、更にWIZBLプロジェクト及びプラットフォームの開発及び運営が終了される場合があります。WIZBLプロジェクトおよびプラットフォームの開発、運営、及び維持と関連したリスクは下記の通りです。

1. WIZBLプロジェクトまたはプラットフォームの開発、運営及び維持に関連したリスク

- A. WIZBLプロジェクトまたはプラットフォームは開発中であり、サービス開始または具現前に大きく変更される可能性があります。当社はコイン及びWIZBLプラットフォームがこの文書に説明された通り作動することを目標に開発しておりますが、コインまたはプラットフォームが期待される価値を下回ったり(例:支払い時)、WIZBLプラットフォーム、コインの潜在的ユーティリティーにマイナスな影響を与える可能性があります。
- B. WIZBLプラットフォームが開発または維持が順調に行われない可能性もあり、金融、支援確保及び技術的な困難を含み、開発または運営中の困難がある可能性があります。この様な支給時点でコインまたはWIZBLプラットフォームが期待価を下回ったり、WIZBLプラットフォーム及びコインにマイナスな影響を与える可能性があり、潜在的な有用性が発生する可能性があります。
- C. WIZBLプラットフォームを通し、第三者が提供する製品及び規制の適用を受ける可能性があり、該当する法律及び規制を侵害する危険性があります。これはWIZBLプラットフォーム、コイン及びコインユーティリティーにマイナスな影響を与える可能性があります。
- D. サービスには、サービスの使用、データ購入または販売が含まれており、該当国家関連法のデータ保護法と規制に適応される恐れがあり、該当の法に違反する恐れがあります。これはWIZBLプラットフォームとコイン、そしてコイン使用にマイナスな影響を与える恐れがあります。

2. ガバナンス権限が無く発生する可能性があるリスク:コインはWIZBLプラットフォーム、WIZBLプロジェクト及び当社と関連したどのような種類の管理権限も付与いたしません。したがって、WIZBLプロジェクト、WIZBLプラットフォーム及び当社と関連する全ての決定は当社により行われ、当社の製品またはサービス、WIZBLプロジェクト及びプラットフォームを中断する決定を含むWIZBLプラットフォームにて使用するため、

さらに多くのコインを作り販売または精算することも当社が決定することとします。このような決定はWIZBLプロジェクト及びプラットフォームまたはサービス獲得を目的としたコインユーティリティーを含み、所有者が所有する全てのコインの有用性にマイナスな影響を与える可能性があります。

3. WIZBLプロジェクトの失敗、放棄または遅延のリスク：コインの販売及び精算またはWIZBLプロジェクト及びプラットフォームの開発は、大衆の関心不足、資金不足または産業的な不足をはじめとするあらゆる理由で失敗もしくは放棄及び遅延する可能性があります。(例：ライバルプロジェクトによること)
4. 規制上のリスク；特定の管轄が既存の規定を適用し、コイン及びWIZBLプラットフォームと相反する可能性のあるブロックチェーン技術を扱う新たな規制を導入する可能性があり、その中でも特にコイン及びWIZBLプラットフォームに大きな修正をもたらす可能性があります。
5. 非公開キー損失のリスク；コインは認定者と暗号の組み合わせのみでアクセスできます。コインを保存するデジタルウォレットまたはボルトと接続された認定者の損失により、復旧不可能で永久的にコインが損失される可能性があります。
6. ハッキング及びセキュリティーの弱点のリスク：コイン、コイン売却、WIZBLプラットフォーム（開発された場合）及び当社は、ハッカーまたは悪意があるグループやWIZBLプラットフォームおよびコインを妨害しようとする組織の対象にされる恐れがあります。コイン売却を行ったり、マルウェア攻撃、分散サービス拒否、合意基盤攻撃、SYBIL攻撃、フィッシング、スマッピング及びハッキングなど、様々な方法でコインを盗用される恐れがあります。また、WIZBLプラットフォーム、コイン売却とサービスを受けるためコインの有用性にマイナスな影響を及ぼす恐れのある第三者または当社会員がWIZBLプラットフォームの核心インフラに意図的または非意図的に弱点を与える恐れがあります。
7. 税金関連のリスク；コインの初期処理及び会計は不確実であり、地域により差がある恐れがあります。コイン購入と関連した独立的な税金の助言を得なければならなく、これによる税金が課せられる恐れがあります。

8. ETHの変動制と関連したリスク:ETHの価値は市場の変動、規定変更、技術発展および経済的、政治的要因など様々な要因により短期間に大きく変動する恐れがあります。このような変動により、当社はWIZBLプラットフォーム開発に資金供給が不可能となることや、WIZBLプラットフォームを意図した方式で維持、管理できなくなる恐れがあります。
9. 技術へのリスク;コインは完全に認定されていない新技術に新しい機能をもたらすものです。技術が成長することに伴い、新しい機能によるコインの有用性またはコインを使用し販売する能力が大きく違つてくる恐れがあります。コインの機能は複雑で時が経つにつれ、機能向上及び製品支援が必要となることが予想され、全体の機能が予想より長くかかる恐れがあります。コインの全ての機能はまだ完了しておらず、その様な官僚について補償できないものとします。
10. 当社またはプラットフォームの解散のリスク;EHT(またはその他暗号化及び貨幣通貨)の価値の不利な変動、コインの有用性減少、産業関係の失敗または知的財産権所有の問題と関連して、WIZBLプラットフォームがこれ以上運営できない場合、当社は不確信で、変動する規制体制を解散及び損害を受ける恐れがあります。
11. 予想のできないリスク;コインと同様、暗号化コインは新しく相対的に検証されていない技術です。上記で触れたようなリスクの他に当社が予想できないコインの購入、保有及び使用と関連したその他の危険性もあり得る恐れがあります。そのような危険性は予想だにしない変動または上記リスクの混合によりさらに具体化される恐れがあります。

改定履歴



Date	Version	Topic
08.28.2018	v 0.8	Initial Document